

7 詩1 作者の意図を読み取る

組			
番号			
氏名			

1 次の詩を読んで問いに答えなさい。

どこかで紙鳶たこのうなりがする
子どもらの耳は敏さとしく
青空はひさしぶりでおもひだされた
いままで凍いてついてゐたやうな頑固な手もほんのりと赤味をさし
どこことなく何とはなしににぎやかだ
どこかで紙鳶たこのうなりがする
それときいてひとびとは
ああ（ b ）がきたなと思ふ
そして何か見つけるやうな目付で
水水しい青空をみあげる
てんでに紙鳶たこを田圃たんぼにもちだす子ども等
やがてあちらでもこちらでもあがるその紙鳶たこ
それと一しよに段段と
子どもらの足も地べたを離れるんだ

山村暮鳥

（ a ）

①（ a ）【題名】と（ b ）には同じ言葉が入ります。その言葉を次の中から選んで答えなさい。

正月	春	夏	秋	冬
----	---	---	---	---

解答欄

春

注 四行目に着目しよう。

② 子どもらの足も地べたを離れるんだとありますが、これは「子どもら」のどのような様子を表現していますか。簡潔に説明しなさい。

（例）春になって、子どもらが紙鳶をしながら元気に走り回ったり飛び回ったりしている様子。

注 「どのような様子か」と問われたときは、「〃様子」と答えよう。